

令和4年3月 鳥取県中小企業団体中央会情報連絡員報告

県内景況、原材料や燃料等高騰続き低迷

新型コロナ感染拡大、円安、ロシアのウクライナ侵攻等懸念

～景況DI値は、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス34.2～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 3月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比21.0ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比84.4ポイント上昇のプラス52.6、前年同月比31.5ポイント上昇のマイナス21.1。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス26.3。非製造業では、DI値前月比21.0ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比10.4ポイント上昇のプラス21.0。

収益状況 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比15.9ポイント低下のマイナス47.4。非製造業では、前月比57.9ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比15.7ポイント上昇のマイナス36.9。

資金繰り 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス21.1。非製造業では、前月比21.0ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス26.3。

雇用人員 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2。非製造業では、前月比21.0ポイント上昇のプラス5.2、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8。

景況 製造業では、DI値前月比5.2ポイント低下のマイナス21.0、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス31.5。非製造業では、前月比42.1ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス36.9。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比18.5ポイント上昇のマイナス15.7、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス34.2となった。製造業の一般食料品、繊維製品、木材・木製品、生コン、金属製品関連では原材料価格や燃料等の値上がり基調により、厳しい状況が続いている。非製造業では、旅館・観光関係で一部持ち直しの動きがあるも、コロナ禍により消費マインド低下は依然として改善されていない。また、運輸業では燃料価格高騰が深刻化している。県内景況は、原材料や燃料等高騰により厳しい状況が続いており、低迷状態。新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、円安、ロシアによるウクライナ侵攻の影響等マイナス要因は多く、今後も一層厳しさを増すことが懸念される。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

3月の全国倒産は、件数587件で、10カ月連続の前年同月比減少、減少期間はコロナ禍以降では最長となった。負債総額は1,825億8,200万円(負債総額1,000万円以上)で、2カ月連続の前年同月比増加となった。不況型倒産の合計は459件で、2カ月ぶりに減少した。

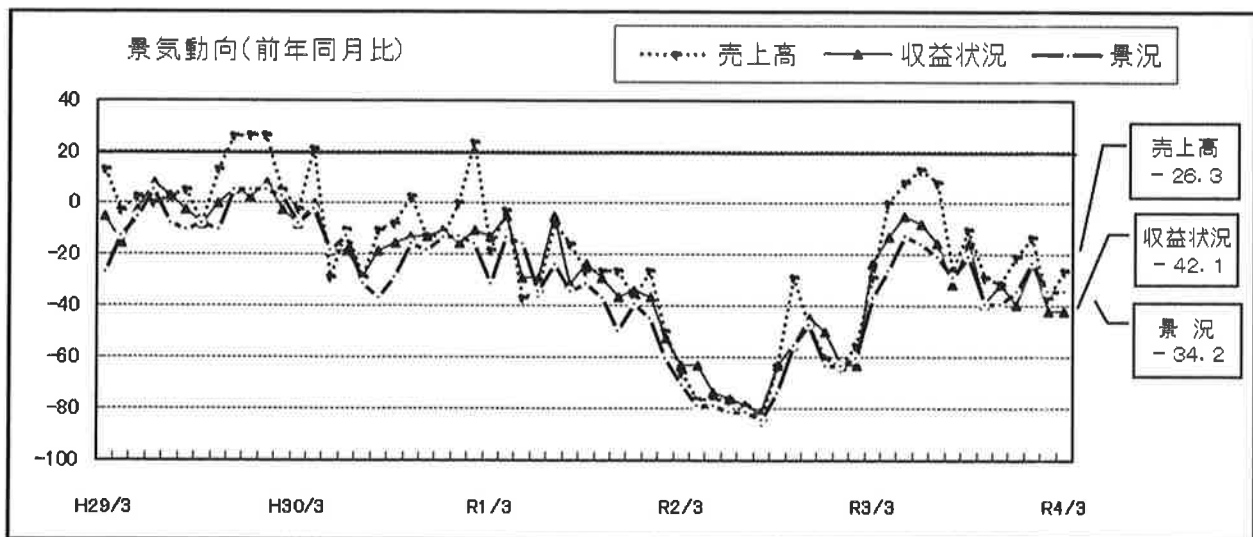
一方、3月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数4件(前月2件)、負債総額は4億5,000万円(前月1億900万円)、業種別については、卸売業が2件、建設業、小売業が各1件。主因別は販売不振が3件、その他の経営計画の失敗が1件となった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報2月分」)

鳥取県の2月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.46倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.21倍)で、前月より0.03ポイント上昇。各所別有効求人倍率(原数値)では、鳥取所1.38倍、米子所1.56倍、倉吉所1.88倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.61倍(季節調整値)で、前月より0.08ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比13.5%増加し、有効求人数は12.9%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、製造業(64.8%)、サービス業(39.5%)、宿泊業・飲食サービス業(19.1%)、運輸業・郵便業(10.1%)、建設業(9.0%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比1.7%減少し、有効求職者数は前年同月比1.1%減少となった。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.53倍で、前年同月を0.11ポイント上回った。新規求人数は前年同月を6.2%上回った。



3月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	36.8%	10.5%	26.3 21.0	68.4%	15.8%	52.6 84.4	52.6%	13.2%	39.4 52.6
(2)在庫数量	15.8%	5.3%	10.3 5.1	25.0%	0.0%	25.0 33.3	19.4%	3.2%	16.2 16.2
(3)販売価格	15.8%	0.0%	15.8 5.3	15.8%	5.3%	10.5 21.0	15.8%	2.6%	13.2 13.2
(4)取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	0.0%	0.0 10.5	0.0%	2.6%	-2.6 5.3
(5)収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	36.8%	10.5%	26.3 57.9	21.1%	15.8%	5.3 29.0
(6)資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	5.3%	15.8%	-10.5 21.0	5.3%	15.8%	-10.5 13.2
(7)設備操業度	15.8%	10.5%	5.3 0.0						
(8)雇用人員	5.3%	5.3%	0.0 5.3	10.5%	5.3%	5.2 21.0	7.9%	5.3%	2.6 13.2
(9)景況	5.3%	26.3%	-21.0 -5.2	21.1%	31.6%	-10.5 42.1	13.2%	28.9%	-15.7 18.5

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	10.5%	42.1%	-31.6 -10.6	26.3%	47.4%	-21.1 31.5	18.4%	44.7%	-26.3 10.5
(2)在庫数量	15.8%	10.5%	5.3 0.1	8.3%	16.7%	-8.4 16.6	12.9%	12.9%	0.0 6.4
(3)販売価格	26.3%	0.0%	26.3 5.2	26.3%	5.3%	21.0 10.4	26.3%	2.6%	23.7 7.9
(4)取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 10.6	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	2.6%	7.9%	-5.3 7.9
(5)収益状況	0.0%	47.4%	-47.4 -15.9	10.5%	47.4%	-36.9 15.7	5.3%	47.4%	-42.1 0.0
(6)資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 0.0	5.3%	31.6%	-26.3 5.2	2.6%	26.3%	-23.7 2.6
(7)設備操業度	5.3%	26.3%	-21.0 -10.5						
(8)雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	2.6%	13.2%	-10.6 5.2
(9)景況	5.3%	36.8%	-31.5 0.1	10.5%	47.4%	-36.9 0.1	7.9%	42.1%	-34.2 0.1

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 原料（小麦粉、油脂類）や光熱費（LP ガス、電気等）の大幅な値上がりにより収益が圧迫されている。販売価格については一部値上げを行ったが、今後、売上に影響することが懸念される。

醤油⇒ 業界全体としては、国内の落ち込みを輸出でカバーし、コロナ禍以前までには戻っていないが少し上向いてきた。県内事業者景況は、コロナ禍で落ち込んだ前年よりさらに悪くなっている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、ロシアのウクライナ侵攻の影響もあり、さらに国内需要が高まっている。また防護服生産が再度始まることもあり、国内生産のキャパが不足している。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ 国内の衣料品消費は依然として低迷が続いている。繊維原料高、さらに円安による輸入コストが上昇しており、最終売場での売値の動向を注視している。

【家具装備品】

⇒ 原材料、輸送コスト等の高騰により、仕入価格が上昇しており、小売価格上昇を避けられない状況。大手より中小企業の方が大きく影響を受けている。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で不変。合板の生産量はやや増加。原木価格は高止まりで製材品価格は依然として高く、合板は引き続き不足感があり高値が続いている。また、5月以降、外材の値上げが予想されており品薄、高騰による内地材への需要が高まる可能性がある。プレカット加工の稼働率は、前月比で5%増加、前年同月比で35%減少。機械更新のため3月以降、稼働を止めている。

【紙・加工品】

和紙⇒ コロナ禍による回復ができていない現状に加え、ロシアのウクライナ侵攻の影響で、ロシア産の原料（パルプ）が輸入できなくなっている。多くの事業所が使用している特徴的な原料であり、代替品の模索等に苦慮している。

【印刷】

⇒ 年度末需要により操業は上向いたが、新年度に向けての期待感が持てるが不透明。また6月から紙とインクの値上げがあるため、業界には危機感が広がっている。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 3月の生コン出荷量は、前月比7%減少、前年同月比25%増加。

全体的に受注残がなく低調。公共投資は秋以降新規物件の発注が少ない。民間設備投資はマンションや工場関係工事はあるが、数量を押し上げるほどにはない。各メーカーのセメントの値上げが、1月以降2,000円～2,400円/トンの動きとなり、さらに軽油の値上がりでダンプの運賃値上げとミキサー車による大幅なコスト上昇で、生コン販売価格の検討が急務となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、地元物件が少なくなってきたおり、県外物件の受注に頼るところが大きい。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に受注は増加傾向であったが、半導体不足に加え、アジア圏での新型コロナ感染拡大により部品供給の確保が難しく、納期に影響が出ている。また、鋼材価格は、高止まりから更なる値上げの動きが強まっており、収益圧迫と需要の停滞が危惧される。

鉄骨加工⇒ ロシアのウクライナ侵攻の影響はスクラップ、原料炭の高騰など大きな影響が出ている。電炉メーカーの東京製鐵は4月の契約よりプラス7,000円/トンと発表し、高炉メーカーも3カ月でプラス30,000円/トン程度引き上げることが予想され、受注済み物件の原価高騰は避けられない状況となっている。

金属熱処理⇒ 3月の受注状況は、年度末の駆け込み需要もあり先月比で20%増加したが、前年同月比では16%の減少となった。3月受注の内訳としては、自動車部品はやや持ち直してきてはいるが、先行きは不透明。産業機械全体では増加傾向にあり、なかでも建設機械は若干不安定ながら上昇傾向にある。自動車の回復が不十分であるため全般に景気回復が踊り場的な状態。

【電気機械器具】

⇒ 部材調達の影響が深刻化している。外国人技能実習生等の入国許可を受け順次回復傾向にあるが、オミクロン株感染拡大の影響で不安が残る。受注は回復傾向にあるが部材入荷次第で、入荷なければ休業、入れれば残業で計画生産どころではない。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加しているが、旅館やホテル、飲食業は依然としてコロナ禍の影響を受けている。宴会等の外食も縮小傾向にあり、消費が低迷している。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比でほぼ横ばい。依然として厳しい状況。

中部地区⇒ 事務機器業界としては繁忙期を迎えるが需要は低調。物流に関しても半導体不足による納期未定の状態が続いている。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等により売上低下が見受けられるが、徐々に回復の兆候あり。一部でウッドショックの影響が見受けられる。

また半導体不足による電化製品、PC等の物流の懸念がある。

水産物⇒ 巻き網漁はマイワシの大漁が続き、昨年同月比で1万トンを超える水揚げ量となった。近海物は定置網の魚種が乏しかったが、底引きは順調に推移。紅ズワイガニの水揚げ量は例年並みであったが、秋からの備蓄もあり昨年を大きく上回る浜値高で推移した。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、2月の輸出価格続伸等の影響により低迷。市中間屋筋の在庫が薄く3月に入ってから出荷が伸びていないことと、世界的な資源高で7,000円の急伸を見せた。古紙は前月比で横ばい。非鉄市況は資源高による高値が続いた。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ オミクロン株感染拡大により、4月10日までのリバウンド防止特別月間や感染急拡大特別警報の発令などで不要不急の外出を控える要請もあり、3月の繁忙期においても客足は疎らで、飲食店、物販店舗の売上に大きく影響した。例年商店街エリアで実施していた4月以降の各種イベントも昨年同様に開催中止が相次いでおり、来街者の減少を防ぐ手立てがない状況。本格的に消費マインドが低下している。

中部地区⇒ 新年度となり人の動きが活発になるのを期待する反面、新型コロナ感染者数の高止まりに不安。倉吉の観光名所、白壁土蔵群周辺では観光客が見え始めたが、観光バスが少なく賑わいとまではいかず、桜の名所、打吹公園は来園者が増加したものの、人の流れが商店街まで来ていない。

西部地区⇒ この2ヶ月で商店街に新店舗が複数オープン。4月末には、空き店舗をリノベーションした複合施設がオープンする。4月23日は米子元町パティオ広場で定期イベント「サンロードマーケット」を開催し、賑わい創出を目指す。

境港市の水産物小売では、「境港水産物直売センター」が4月24日にリニューアルオープンする。8月に共用開始予定の県営境港水産物地方卸売市場や水木しげるロードとの連携をしながら、一層観光客誘致に力を入れていきたい。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、例年より気温が高く天候も良かったこともあり、春休みに入り観光客の入込数が大幅に増加した。売上高は、前月比で大幅に増加、前年同月比では減少したが観光客は戻りつつある。

米子市のホテル・旅館では、3月は営業日数が大幅に増加したことから日帰客、宿泊客ともに増加し、前月比で売上高は増加し収益状況も好転した。前年同月比では売上高は僅かに減少、収益状況も悪化した。業界全体では、3月は例年春期休暇、歓送迎会等で業況は好転するが新型コロナ感染拡大が続いており状況は芳しくない。

三朝温泉では、売上高は、前月比で減少、前年同月比で増加。各種キャンペーンの拡大が待たれる。

羽合温泉では、売上高は、前月比で増加、前年同月比では横ばい。新型コロナ感染者が高止まりの状況が続いており、宿泊客の動きは鈍い。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数は普通車、軽自動車合わせて3,230台で前月比73%増、前年同月比17%減という状況。継続検査台数（軽自動車を含む）は24,073台で前月比57%増、前年同月比6%減、中古車（軽自動車を含む）は870台で前月比が54%増、前年同月比は15%減の実績。

【建設業】

⇒ 2月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額57億円（前年同月比16%減）、件数98件（前年同月比28%増）で、年度累計（令和3年4月～令和4年2月）は、請負金額895億円（前年同月比4%減）、件数1,609件（同3%減）となった。単月で前年比マイナス、年度累計のマイナス幅もやや拡大。設備投資は、単月、3カ月平均ともに前年比プラス、住宅建設も単月、3カ月平均ともに前年比プラスが続く。建設資材価格の上昇や設備機器の納期遅れ・欠品に伴う工期長期化によるコスト増の影響により収益が圧迫されている。

2月の鳥取県新設住宅着工戸数は196戸（持家139戸、貸家57戸）で、前月比36%増加、前年同月比でも6%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 2月の荷動きは、製造業等の出荷量は横ばいで推移。引っ越し需要が高まるも、依然低調な状況が続いている。復路荷物の荷動きも低調に推移しており、空車で帰る非効率な運行が続いている。依然として燃料価格が上昇しており経営を圧迫し厳しい状況。

西部地区⇒ 新年度へ向けた引越需要等も加わり一年の繁忙期のなかコロナ禍で例年の様に車両不足に陥ることはなかったが、復路に関しては週末を中心に空車回送も見受けられるなどコロナ前には戻っていない。燃料価格は高値のまま推移しており、暫くは高値のままで推移すると予想される。コロナ禍、ウクライナ危機、半導体供給不足などマイナス要因ばかりで景況は一段と厳しさを増している。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靭化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・電気、ガスをはじめエネルギー関係や資材の値上がり幅が大きく価格転嫁できないため対策を検討してほしい。【金属熱処理業】
- ・金融政策をもっと柔軟にする必要がある。【電子部品製造業】
- ・経営維持のための抜本的な施策を検討してほしい。【旅館業】
- ・GoTo トラベルの再開を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応【商店街】
- ・さらなる減税等の施策を求める。【運輸業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売上高	製造業	31.6	-26.3	-31.5	-5.3	10.5	-36.8	15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5	5.3	26.3	-5.3
	非製造業	26.3	0.0	-10.5	-5.2	10.5	-5.3	0.0	15.8	15.8	-5.3	-63.1	-31.6	52.6	26.3
	全業種	29.0	-13.1	-21.1	-5.3	10.5	-21.1	7.9	0.0	5.3	-7.9	-36.8	-13.2	39.4	10.4
在庫数量	製造業	5.2	10.6	5.3	15.8	10.5	-5.2	5.3	10.5	10.5	10.6	15.8	5.2	10.3	5.1
	非製造業	0.0	8.3	0.0	16.7	-8.4	8.4	-8.4	0.0	-8.4	8.4	16.7	-8.3	25.0	25.0
	全業種	3.2	9.7	3.2	16.1	3.2	0.0	0.0	6.4	0.0	9.7	16.1	0.0	16.2	13.0
販売価格	製造業	26.3	21.1	10.5	15.8	15.8	21.1	15.8	10.5	15.8	10.5	-15.8	10.5	15.8	-10.5
	非製造業	-10.5	-10.5	10.5	-10.5	0.0	-5.3	0.0	5.3	10.6	5.3	10.5	-10.5	10.5	21.0
	全業種	7.9	5.3	10.6	2.6	7.9	7.9	7.9	7.9	13.1	7.9	13.2	0.0	13.2	5.3
取引条件	製造業	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8
	非製造業	-15.8	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	15.8
	全業種	-2.6	0.0	2.7	-2.7	-5.3	-5.3	-7.9	-10.5	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-2.6	0.0
収益状況	製造業	10.5	-26.3	-16.8	-31.5	-15.8	-15.8	-5.2	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-15.8	-15.8	-26.3
	非製造業	0.0	-20.9	-42.1	-21.0	-21.0	-21.0	-10.5	-10.5	21.0	-21.0	-63.2	-31.6	26.3	26.3
	全業種	5.2	-23.7	-28.9	-26.3	-18.4	-18.4	-7.9	-13.1	2.6	-18.4	-42.1	-23.7	5.3	0.1
資金繰り	製造業	10.5	10.2	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5	-21.0
	非製造業	-21.1	-15.8	-36.8	-26.3	-10.5	-26.3	-26.3	-21.0	-5.3	-26.3	-42.1	-31.5	-10.5	10.6
	全業種	-5.3	-5.3	-23.7	-13.1	-7.9	-18.5	-18.5	-15.8	-7.9	-18.4	-31.6	-23.7	-10.5	-5.2
設備操業度	製造業	21.0	-5.3	-15.8	-5.3	5.3	-26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-15.7
雇用人員	製造業	10.5	5.2	-5.2	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-10.5	-5.3	0.0	-10.5
	非製造業	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	-5.2	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-21.1	-15.8	5.2	0.0
	全業種	7.9	-2.6	-7.9	-5.3	0.0	-2.7	-5.2	-2.7	2.7	5.4	-15.8	-10.6	2.6	-5.3
景況	製造業	-10.5	-26.3	-10.6	-15.8	-10.6	-21.0	0.0	-10.6	-10.6	-5.3	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5
	非製造業	-26.3	-36.8	-47.3	-31.5	-36.8	-36.8	-42.1	-21.0	-10.5	-26.3	-63.2	-52.6	-10.5	15.8
	全業種	-18.4	-31.5	-28.9	-23.6	-23.7	-28.9	-21.0	-15.7	-10.5	-15.8	-39.5	-34.2	-15.7	2.7

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売上高	製造業	-15.8	-10.5	5.2	0.0	0.0	-31.6	15.7	-21.0	-5.3	-5.2	0.0	-21.0	-31.6	-15.8
	非製造業	-42.1	10.5	10.6	26.3	15.8	-21.1	-36.8	-26.8	-57.9	-36.8	-26.3	-52.6	-21.1	21.0
	全業種	-29.0	0.0	7.9	13.2	7.9	-26.3	-10.6	-29.0	-31.6	-21.1	-13.2	-36.8	-26.3	2.7
在庫数量	製造業	-15.8	10.6	10.5	10.5	5.3	-15.8	5.3	5.2	0.0	5.3	10.5	5.2	5.3	21.1
	非製造業	-33.4	-8.3	-16.6	0.0	-16.7	8.4	-16.7	-33.4	-16.7	-16.7	-8.3	-25.0	-8.4	25.0
	全業種	-22.5	3.3	0.0	6.4	-3.2	-6.4	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	-6.4	0.0	22.5
販売価格	製造業	0.0	10.5	5.2	21.0	21.0	15.8	26.3	15.8	31.6	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3
	非製造業	-26.3	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3	-15.8	0.0	0.0	0.0	21.1	21.0	10.6	21.0	47.3
	全業種	-13.1	-2.6	-5.3	7.9	7.9	0.0	13.2	7.9	15.8	23.6	23.7	15.8	23.7	36.8
取引条件	製造業	0.0	10.5	10.5	10.5	10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	-15.8	-15.8	-5.2	-5.2
	非製造業	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	15.8
	全業種	-10.5	0.0	0.0	0.0	2.6	-10.6	-13.1	-10.6	-7.9	-10.6	-13.2	-13.2	-5.3	5.2
収益状況	製造業	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	-21.0	-36.8	5.2	-26.3	-26.2	-42.1	-26.3	-31.5	-47.4	-31.6
	非製造業	-31.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-26.3	-36.8	-52.6	-36.8	-57.9	-21.1	-52.6	-36.9	-5.4
	全業種	-23.7	-13.1	-5.3	-7.9	-15.8	-31.6	-15.8	-39.4	-31.5	-39.5	-23.7	-42.1	-42.1	-18.4
資金繰り	製造業	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-21.1	-26.3	-15.8	-21.1	-21.0	-15.8	-21.1	-21.1	-21.1	-5.3
	非製造業	-42.1	-10.5	-31.5	-36.8	-26.3	-36.8	-47.3	-47.3	-31.5	-31.5	-21.0	-31.5	-26.3	15.8
	全業種	-28.9	-13.1	-2.9	-26.3	-23.6	-31.6	-31.5	-34.2	-26.3	-23.6	-21.0	-26.3	-23.7	5.2
設備操業度	製造業	-21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-10.6	-31.5	0.0	-15.8	0.0	-5.2	5.3	-10.5	-21.0	0.0
雇用人員	製造業	0.0	-5.3	10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-5.3	-5.2	0.0	5.3	-15.8	-10.5	-5.2	-5.2
	非製造業	-21.0	-10.6	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	5.2
	全業種	-10.5	-7.9	-7.9	-10.6	-10.6	-21.1	-18.4	-21.1	-13.1	-5.3	-18.4	-15.8	-10.6	-0.1
景況	製造業	-26.3	-21.0	-10.5	-5.2	-15.8	-21.0	-5.3	-31.5	-26.9	-31.6	-15.8	-31.6	-31.5	-5.2
	非製造業	-47.4	-31.5	-15.8	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-47.4	-42.1	-36.9	-31.6	-36.8	-36.9	10.5
	全業種	-36.8	-26.3	-13.1	-15.8	-21.0	-29.0	-21.1	-39.5	-39.5	-34.2	-23.6	-34.2	-34.2	2.6

情報連絡員報告総括表(令和4年3月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	悪化		
食料品	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0	1	0	1	
繊維工業	1	1	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1		
木材・木製品	1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	1	3	0	0	0	2	2	
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
出版・印刷	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	
化学ゴム																													
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
鉄鋼・金属	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	1	1	
一般機器	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
輸送用機器																													
その他																													
19	7	10	2	3	15	1	3	16	0	0	18	1	14	4	1	15	3	3	14	2	1	17	1	1	13	5			
100%	36.8%	52.6%	10.5%	15.8%	78.9%	5.3%	15.8%	84.2%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	68.4%	26.3%			
卸売業	4	1	1	2	4	0	2	4	0	0	6	0	3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6	0	0	2	3	1	
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
商店街	1	2	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	0	0	0	3	1	0	1	3		
サービス業	4	0	1				0	5	0	0	5	0	2	2	1	2	2	2	1	1	4	0	2	0	2	2	1		
建設業	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
運輸業	2	0	0				1	1	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1		
その他																													
19	13	3	3	3	8	0	3	15	1	0	19	0	7	10	2	1	15	3	10	2	1	15	3	2	16	1	4	9	6
100%	68.4%	15.8%	15.8%	25.0%	66.7%	0.0%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	36.8%	52.6%	10.5%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	36.8%	52.6%	10.5%	5.3%	84.2%	5.3%	21.1%	47.4%	31.6%	
38	20	13	5	6	23	1	6	31	1	0	37	1	8	24	6	2	30	6	3	14	2	3	33	2	5	22	11		
100%	52.6%	34.2%	13.2%	19.4%	74.2%	3.2%	15.8%	81.6%	2.6%	0.0%	97.4%	2.6%	21.1%	63.2%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	73.7%	10.5%	7.9%	86.8%	5.3%	13.2%	57.9%	28.9%		

情報連絡員報告総括表(令和4年3月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	0	0	2	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1		
繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	1	0	2	1	1	1		
木材・木製品	1	2	1	0	3	1	3	1	0	0	3	1	0	2	2	0	2	2	1	3	0	0	0	3	1		
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0		
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	1		
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0		
鉄鋼・金属	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	2	0	2	0	0	0	1	1		
一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	1	0	3	0	3	0	3	0	0	0	2	1		
電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1		
輸送用機器																											
その他																											
19	2	9	8	3	14	2	5	14	0	1	16	2	0	10	9	0	15	4	1	13	5	1	16	2	1	11	7
100%	10.5%	47.4%	42.1%	15.8%	73.7%	10.5%	26.3%	73.7%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	52.6%	47.4%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%
卸売業	3	2	1	1	4	1	2	4	0	0	6	0	1	4	1	1	5	0				0	6	0	2	3	1
小売業	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	2	2	0	2	2				0	2	2	0	1	3
サービス業	1	1	3				1	4	0	0	5	0	0	2	3	0	3	2				0	4	1	0	2	3
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	1	0	1				1	1	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	5	5	9	1	8	2	5	13	1	0	18	1	2	8	9	1	12	6				0	16	3	2	8	9
100%	26.3%	26.3%	47.4%	8.3%	66.7%	16.7%	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	42.1%	47.4%	5.3%	63.2%	31.6%				0.0%	84.2%	15.8%	10.5%	42.1%	47.4%
38	7	14	17	4	22	4	10	27	1	1	34	3	2	18	18	1	27	10	1	13	5	1	32	5	3	19	16
100%	18.4%	36.8%	44.7%	12.9%	71.0%	12.9%	26.3%	71.1%	2.6%	2.6%	89.5%	7.9%	5.3%	47.4%	47.4%	2.6%	71.1%	26.3%	5.3%	68.4%	26.3%	2.6%	84.2%	13.2%	7.9%	50.0%	42.1%